

(7)新左翼一フントの歴史年表……………1973~1980

● 1973年

- 1月1日森恒夫(大阪市大・連合赤軍)、東京拘置所で自死(享年28歳)
- 1月11日京都大学経済学部評議会—「竹本処分」決定
- 1月15日「烽火」281号「わが同盟の到達地平と部落解放運動(上)」
「樺島弁護士事件に対するわれわれの態度」共産同(全国委員会)
- 1月×日 労働運動研究会結成
- 2月1日『ボルシェヴィズム通信』第8号
- 2月5日「烽火」282号「わが同盟の到達地平と部落解放運動(中)」
- 3月×日日本革共同(第四インターナショナル日本支部)第六回大会
- 3月×日共産同赤軍派第一回臨時総会—開催(連合赤軍指導部の除名等決議)
- 3月×日差別・分断・生活破壊と闘う全国労学交流集会(京大)
「現代産業社会における臨時労働者」(全臨闘)
「釜ヶ崎と高橋和己」(底辺委員会)
「列島改造と住民闘争」(伊方共闘)
「戦後史からの証言」(京大同学会)
- 3月×日共産主義者同盟国際主義派—結成(松原博志・機関紙「プロレタリア通信」)
共産同(戦旗派)の分裂
- 3月×日革共同中核派—田川和夫除名
- 3月28日『遺稿 森恒夫』(査証出版)—発行
- 3月29日全国労働者共闘(労共闘)春闘討論集会(共産同(戦旗派)・東京)
- 3月30日「烽火」284号「わが同盟の到達地平と部落解放運動(下)」
- 4月×日前衛編集委員会第2回大会・共産主義者党へ改称(機関誌紙『世界革命』『前衛』)
- 4月×日『雲と火の柱』創刊号(革共同全国委員会)
- 4月×日共産主義労働者党全国協議会—結成(共労党プロレタリア革命派の改組)
- 4月30日『共産主義』16号(共産主義者同盟(RG))—発行
- 4月30日『共産主義』16号—共産同(戦旗派)
- 5月×日プロレタリア青年同盟全国協議会(プロ青同)—結成(プロ学同の改組)
- 5月5・6日革共同革マル派第7回大会
- 5月13日共産同叛旗派全国反帝戦線大会(機関誌『呐喊』)
- 5月17日共産同赤軍派「革命戦争」編集委員会—結成・機関誌「革命戦争」
- 5月30日テルアビブ1周年追悼討論集会(京大/基調・上野勝輝/日朝人民連帯・関大連合戦線・龍大共思研・日朝人民連帯・京都地区底辺委・釜共闘)
- 6月×日共産主義者同盟(戦旗派)第十二回中央委員会—分裂開始
(日向翔派・機関紙「戦旗」、西田輝派「戦旗」、城山徹派「プロレタリア戦旗」)
- 7月×日革共同中核派—杉進也(沢山保太郎)・全国部落青年戦闘同志会代表・除名
- 7月×日『鉄の戦線』4号
- 7月20日「日本赤軍」・被占領地の息子たち・日航四〇四便ハイジャック闘争(ドバイ空港)
- 8月×日共産主義者同盟(前衛・労革委)—結成(前衛・労働者革命委員会の改組)
- 8月6日「前進」第646号「革命闘争と革命党の事業の堅実で全面的な発展のために」(本多延嘉)
- 8月25日共産同叛旗派全国反帝戦線第二回全国大会
- 9月×日共産同蜂起左派—結成(羽山太郎・機関誌『蜂起左派』-共産同蜂起派の分裂)
- 9月×日 三里塚闘争を支援する労働者の会(三支労)結成
- 10月10日『革命的暴力と内部ゲバルト』(国際革命文庫7・新時代社)—発行
- 10月×日『総括資料集』—発刊(共産主義者同盟赤軍派日本労働党建設準備委員会)
- 10月×日『蜂起左派』1号(共産同蜂起左派)
- 11月×日マルクス主義青年同盟(準)—結成(機関誌・紙『共産青年』『党旗』)~京大L研幹部の肅清
- 11月14~21日日本共産党第12回大会—「民主連合政府綱領」決定—「プロレタリアートの執権」へ改称
- 12月5日「戦旗」340号「七三年日向カクマル主義者の組織的脱落に関する声明」共産同(戦旗派)中央委員会
- 12月×日『蜂起左派』2号(共産同蜂起左派)

● 1974年

- ×月×日日本学生戦線(日学戦)—全国代表者会議(議長斉藤まさし・法政大、上智大、京大、同志社大)

- 1月×日日本労働党—結成(旧日本共産党佐賀県委員会・大隈鐵二・機関誌紙『労働党』『労働新聞])
- 1月7日特別声明「プロロ＝中核派による同志吉川虐殺に対し反革命集団の断固たる党派闘争をもって応えよ！」
- 1月26日ベトナムに平和を！市民連合(ベ平連)—解散
- 1月×日『新地平』創刊準備号～179号終刊・89年(新地平社)
- 1月31日「日本赤軍」・PFLP、シンガポール石油施設攻撃・クエート日本大使館占拠闘争
- 2月×日『武装』創刊号(革共同全国委)
- 2月2日河北三男(元社学同ML派、日本共産党革命左派神奈川県委員会)—死去
- 2月24-26日民青同第13回全国大会
- 2月×日日本共産党(マルクス・レーニン主義)—結成(安斎庫治・機関誌紙『プロレタリア』『プロレタリア』
日共(M・L主義)山口県委員会と日共再建準備委員会の統合)
- 3月×日共産同プロレタリア派—結成(竹内陽一、上田育子・機関紙「プロレタリア」)
首都青年労働者社会主義研究会(首都社研)・反帝学生戦線
- 3月×日労働者党全国委員会—結成(旧共労党・樋口篤三・機関誌『革命の炎』)
- 3月15日『革命戦争への邁進か 革命戦争への敵対か』(共産同国際主義派)
- 4月15日革共同革マル派-対革共同中核派「勝利宣言」
- 4月19日南朝鮮学生革命14周年全関西集会(同大全学闘・関大学生戦線・関大連合戦線)
- 4月28日破防法—予防ファシズム体制粉碎集会(京都大学)
- 5月×日『蜂起左派』3号(共産同蜂起左派)
- 5月4・5日革共同革マル派第8回大会
- 5月13日第一次「法政大会戦」(革マル派と中核派の激突・革共同中核派東京東部地区委員長死亡)
- 5月15日5・15 武闘派共闘-結成(共産同(蜂起派)、日本共産党(革命左派))
- 5月15日沖縄「返還」協定粉碎全関西統一行動(電通労働者政治委員会・関大連合戦線)
- 5月21日第一回全国精神障害者交流集会—全国「精神病」者集団・結成
- 5月30日三里塚世直し集会(東京日比谷公会堂・戸村一作、参議院選挙立候補)
- 6月×日共産同赤軍派第二回臨時總會—中央委員会解散/
中央書記局・プロレタリア独裁編集委員会・共産同プロ革派の分裂
- 6月×日「プロレタリア通信」創刊号(共産同中央書記局)発行
- 6月26日第二次「法政大会戦」
- 6月30日革共同中核派・革マル派第二印刷所「ホオトク」襲撃
- 7月1日革共同革マル派—対革協「勝利宣言」
- 7月3日「マルクス・レーニン主義通信」NO1—発行(共産同(全国委)ML主義派)
- 7月7日共産主義者同盟(戦旗派)政治集会(「血債・猛省」集会・東京)
- 7月7日戸村一作(三里塚空港反対同盟委員長)・参議院選挙立候補(約33万票落選)
「戸村一作と三里塚闘争に連帯する会」—結成
- 7月29日機関紙「解放」(革共同革マル派)—「権力謀略論」主張開始
- 8月3日島田事件対策協議会青年婦人部—結成(赤堀闘争の開始)
- 8月5日共産主義者同盟(「遊撃」派)—結成(古賀 運、垂水俊介)
(共産同再建準備委員会の分裂・機関誌紙『ボルシェヴィキ』『遊撃』)
- 8月×日共産同全国委員会(マルクス・レーニン主義)-共産同全国委の分裂
(伊集院～首都圏委+東北地方委～機関誌紙『鉄鎖を砕け』『マルクス・レーニン主義通信』)
- 8月×日日本共産主義革命党(再建)第十回大会(書記長—朝日健太郎)
- 8月×日マルクス主義青年同盟—結成
- 8月20日『蜂起左派』4号(共産同蜂起左派)
- 8月30日東アジア反日武装戦線(狼隊)—三菱重工業ビル爆破～以降、企業爆破闘争
- 9月4日共産同赤軍派日本委員会—結成(高田英生・機関誌紙『赤軍』『赤軍』)
- 9月13日「日本赤軍」、ハーグ(オランダ)の仏、米大使館占拠
- 9月13日高野 実(元総評事務局長)—死去(享年73歳)
- 9月×日『マルクス・レーニン主義通信』臨時号(共産同(全国委)マルクス・レーニン主義派)
- 10月×日統社同第十回大会(議長—朝日健太郎～高田麦書記長除名)
- 10月×日共産同赤軍派(プロ革)派—結成(塩見孝也・八木健彦・高原浩之他・機関誌紙『赤軍』『赤軍』
永田洋子・植垣康博・坂東国男加入)
- 10月5日「烽火」第299号(8月×日伊集院光秀・園内 悟・林 正信・原田大三郎・野本純一～除名)

- 10月14日東アジア反日武装戦線(大地の牙隊)—三井物産本社ビル爆破
- 10月21日全国学生戦線総決起集会
- 10月31日狭山差別裁判・東京高裁寺尾差別判決糾弾中央集会(日比谷公園2万名)
- 11月18日米大統領フォード来日阻止闘争(マル青同—米ソ大使館火炎瓶攻撃)
- 11月×日日本赤軍—正式結成(在アラブ)
- 11月×日「遠方から」編集委員会—機関誌・紙「遠方から」「遠方からの手紙」—創刊
(松本礼二事務所・長崎 浩、石井暎禧、篠田邦雄)
- 11月22日「八鹿高校差別事件」(兵庫県)
- 12月18日『赤軍』再刊準備1号—共産同赤軍派(プロ革)
- 12月18日武闘派政治集会(京浜安保共闘・蜂起反帝戦線)
- 1975年
- 1月×日共産同全国委員会東北地方委員会(機関紙「赤炎」)—共産同全国委(ML)の分裂
- 1月1日「叛旗」83号「大道無門—革命派も基準と鞍部」(三上治)～分裂開始
- 1月×日全国労働組合活動家会議(全労活)—設立
- 1月31日～2月1日日本共産青年同盟(共青同)—結成大会
(日本革共同系・学生インター+ILC・機関誌『青年戦線』)
- 2月6日政治集会(同大全学闘・滋賀大経済学部自治会～非合法党建設路線を提起・機関紙「戦報」)
- 2月14日東アジア反日武装戦線(さそり、狼、大地の牙合同隊)・間組本社ビル爆破
- 2月×日八木沢二郎、永井武夫—共産同(全国委員会)離脱
- 3月14日革共同革マル派、革共同中核派・本多延嘉書記長襲撃・死亡(享年41歳)
- 3月17日「復讐の全面戦争に突入せよ!」(「前進」革命的共産主義者同盟政治局)
- 4月1日『遠方から』第2号
- 5月×日『プロレタリア独裁』1号発刊・プロレタリア独裁編集委員会—結成(旧赤軍派臨総派)
- 5月×日共産同全国委員会(ポリシェビキ)—共産同全国委の分裂
(生田民生、本田篤紀、加納英二・・機関誌紙「マルクス主義」「プロレタリアの旗」)
- 5月25日マル青同、岡山大学北津寮武装襲撃(大沢 真・岡大生殺害)
- 6月10日『遠方から』第3号
- 6月25日船本洲治(暴力手配師追放釜ヶ崎共闘会議・釜共闘)—焼身決起(沖縄)
- 6月27日「革共同両派への提言」(色川大吉・井上光晴・対馬忠行・埴谷雄高・もののべながおき)
- 7月1日『マルクス主義』創刊号(通巻16号)—共産同全国委員会(ボルシェビキ)
- 7月5日『マルクス・レーニン主義』創刊号(共産同赤軍派「マルクス・レーニン主義」編集委員会)
- 7月14日革共同中核派・沖縄青年委員会—防衛庁・三菱石油本社等同時多発火炎瓶攻撃
- 7月15日共産同赤軍派(マルクス・レーニン主義派)—結成(高原浩之)
赤軍派プロ革派の分裂・機関誌紙「マルクス・レーニン主義」「革命通信」
- 7月17日皇太子訪沖弾劾「ひめゆりの壕」火焰ビン投擲(沖縄解放同盟・準、共産同戦旗派)
- 7月20日『赤軍』再刊準備2号—共産同赤軍派(プロ革)
- 7月20日『ボルシェヴィキ』創刊準備号(共産同中央委員会—遊撃派)
- 7月×日反覇権通信編集委員会—結成(機関紙「反覇権通信」、日本共産党革命左派の分裂)
- 7月31日革共同(全国委員会)政治集会(北小路 敏報告)—「先制的内戦戦略」の提起
- 8月4日日本赤軍、クアラルンプル米大使館占拠(獄中メンバー5名の釈放)
- 8月10日日本共産党の労働組合支配介入糾弾共闘会議(日共糾弾共闘会議)—結成(大阪)
- 8月×日「朝鮮侵略戦争の歴史的前夜における革命党の基本的任務体系」
(津久井良策＝清水丈夫『共産主義者』第27号)
- 9月15日自衛隊武器補給処攻撃闘争(労働者共産主義委員会)—「爆弾爆破事故」(1名死亡)
- 9月×日「九・一五自衛隊攻撃闘争」爆取り弾圧—労働者共産主義委員会～五分解・
 - ①労共委全国委員会中央委員会(東京都委員会)—機関紙「怒涛」
 - ②労共委臨時中央委員会(成島忠夫G)—機関紙「怒涛」
 - ③労共委神奈川県委員会(田野井利明)—機関紙「プロレタリア革命」
 - ④労共委再建中央委員会→労働党共産主義委員会—機関紙「労働新報」
 - ⑤日本革命党—機関紙「進路」
- 9月14日共産同叛旗派大会—三上治権利停止処分
- 9月15日『プロレタリア独裁』第2号(プロレタリア独裁編集委員会)

- 9月20日『マルクス主義』2号(通巻17号)—共産同全国委員会(ボルシェビキ)
- 9月24日共産主義者同盟大会(叛旗派)—党内論争・分解公然化
- 9月25日「革命通信」創刊号(共産同赤軍派ML主義編集委員会)
- 9月30日天皇訪米阻止闘争・羽田周辺デモ
- 10月×日「現代革命と先制的内戦戦略「革共同の内戦論」に具体化」(織田武雄=野島三郎)
- 10月10日『季刊労働運動』第7号(再刊・柘植書房)
- 10月12日労働青年同盟結成準備会—旧民学同『新時代』派・77年3月機関紙「青年の旗」
- 10月12日三里塚空港粉碎・総決起集会
- 10月15日「叛旗」97号「我が同盟内論争の原則と経緯(「総括と展望」三上 治)公表—三上 治離党
- 10月30日「革命通信」第2号
- 11月22日「11・22 在日韓国人留学生・青年不当逮捕を救援する会」—開始
- 11月30日「革命通信」第3号
- 11月日~12月3日国労・公労協(公協企業体等労働組合)—「スト権奪還スト」~(三公社五現業)
- 12月15日部落解放同盟・部落解放中央共闘会議—結成

● 1976年

- 1月×日日本革共産同(第四インターナショナル日本支部)第八回大会
- 1月15日「革命通信」第4号
- 2月5日全関西総決起集会(同大全学闘・関大連合戦線)
- 2月10日東北大学処分粉碎集会(仙台千名)
- 2月23日三里塚空港粉碎・現地相決起集会
- 3月1日「革命通信」第5号
- 3月14日革共同中核派「三・一四宣言—革共同の新たな戦闘宣言」(織田武雄)
- 3月24-27日民青同第14回全国大会
- 3月×日共産同(「紅旗」派)—結成(機関誌紙「紅旗」「紅旗」)
 (共産同全国委員会(ポリシェビキ)+プロレタリア独裁編集委員会)
- 4月11日京都大学バリケード・スト(学費値上げ阻止)
- 4月15日『遠方から』第4号
- 4月20日『ボルシェヴィキ』創刊号(共産同中央委員会—遊撃派)
- 4月20日「烽火」第301号(再刊301号路線「臨時指導部声明」)
- 4月30日青年共産主義委員会政治集会—評議会共産主義の提起
- 5月1日「革命通信」第6号
- 5月3・4日革共同革マル派第9回大会
- 5月23日狭山差別裁判勝利中央統一集会
- 6月15日「侵略反革命阻止全国政治共闘」結成
 (共産同全国委・戦旗派(西田派)・遊撃派・赤軍派プロ革派・首都社研—五派共闘)
- 6月15日ベトナム革命勝利政治集会—共産同戦旗派(日向派)・共労党・第四インター
- 6月18日政治集会(吉本隆明講演)(三上 治・品川公会堂)
- 7月×日釜ヶ崎日雇労働組合(釜日労)—結成
- 7月28~30日日本共産党第13回臨時大会—「自由と民主主義の宣言」決定(綱領から、「プロレタリアートの執権」の削除・「マルクス・レーニン主義」の「科学的社会主義」へ改称)
- 8月8~10日全国障害者解放運動連絡会議(全障連)—結成(機関誌『全障連』)
- 8月20日雑誌『乾坤』1—創刊(三上 治責任編集・乾坤社(共産同叛旗派の分裂))
- 9月1日『リバイアサンをわが手に—第三勢力の選挙教程』—発行(遠方から編集委員会)
- 9月8日大塚有章(毛沢東思想学院・元日本共産党)—死去
- 9月15日「革命通信」第8号
- 10月13日共産同(RG)メンバー—斉逮捕(榎原均、竹野巖等)
- 10月24日共産同叛旗派大会—解体確認
- 11月10日「天皇在位50年記念式典」反対闘争
- 11月15日「革命通信」第9号
- 11月21・22日赤堀闘争第三回全国大行動集会(静岡・全障連等)
- 12月19日「叛旗解体」政治集会(共産同叛旗派)

●×月×日『地鳴り』—創刊(共産主義者同盟《地鳴り》団、佐々木和雄他)

● 1977年

- 1月15・16日第一回全国労働者討論集会(大阪・全金港合同田中機械支部)
- 1月15日「革命通信」第10号
- 2月6日三里塚決戦勝利(百万人動員)関西実行委員会—結成
- 2月11日革マル派、革労協・笠原正義(中原 一)書記長襲撃・死亡(享年36歳)
- 2月22日宇野弘蔵(マルクス経済学者)—死去
- 2月25日『労働情報』創刊準備号・発刊
- 2月×日共産同マルクス・レーニン主義派第1回大会(共産同赤軍派ML主義編集委員会の名称変更)
- 3月1日「革命通信」第11号
- 3月14日革共同中核派「三・一四アピール—勝利への怒濤の進撃」(織田武雄)
- 3月×日共産同(紅旗派)—分裂(生田・松平派と本田・加納派)
- 4月1日「革命通信」第12号
- 4月×日「紅旗」第12号(編集人・上原)—「中央委員会声明」「紅旗」停刊発表(加納派)
- 4月13日三里塚空港を廃坑へ！総決起集会(同志社大学)
- 4月15日革労協—革マル派・藤原隆義(杜 学)等四名襲撃—死亡
- 4月17日三里塚空港粉碎、鉄塔死守、仮処分粉碎全国集会(2万3千人)
- 4月28日竹本処分粉碎全学集会(京都大学千名)
- 5月6日三里塚岩山大鉄塔抜き打ち撤去
- 5月8日三里塚・岩山大鉄塔撤去抗議集会(千代田農協)—東山 薫君虐殺
- 5月19日同志社大学友会・全学学生大会—全学闘派排除決定
- 5月21日関西反弾圧集会
- 5月25日『鉄鎖を砕け』創刊号(共産主義者同盟(全国委)マルクス・レーニン主義派)
- 5月28・29日革共同革マル派第10回大会
- 5月30日日本赤軍—「5・30 声明—団結をめざし、団結を求め、団結を武器としよう」
- 6月18日竹本処分粉碎大衆団交(京都大学第二次竹本処分粉碎闘争—竹本処分決定)
- 8月23日狭山差別裁判・最高裁上告棄却糾弾中央集会(代々木公園3万人)
- 9月28日日本赤軍、ダッカ日航機ハイジャック闘争(獄中メンバー六名の釈放)
- 10月1日三里塚空港粉碎！全京都総決起集会(京都大学)
- 10月8日羽田闘争10周年記念全同大集会(同志社大)
- 10月9日三里塚空港粉碎・ジェット燃料輸送阻止集会
- 10月17~22日日本共産党第14回大会
- 10月28日ファシズム攻撃と闘う全学集会(京都大学)
- 10月30日日本共産党中央統制委員会—袴田里見除名

● 1978年

- 1月×日塩見孝也—共産同赤軍派(プロ革)離党
- 2月×日三里塚闘争労働者行動調整委員会—結成
首都青年社研(共産同プロレタリア派)、首都圏行動委員会連合(前衛派)、
全国一般労組南部支部、全通埼玉(主体と変革派)、ゼネラル石油精製労組
- 2月15日共産同赤軍派(プロ革)機関紙「赤軍」26号(塩見孝也・八木健彦除名報告)
- 2月6・7日三里塚・横堀要塞防衛戦
- 2月21日関西刑法改「正」保安処分粉碎連絡会議—結成
- 2月23-25日民青同第15回全国大会
- 3月26日三里塚開港阻止決戦・空港包囲大行動総決起集会
三里塚・管制塔突入占拠闘争
(三里塚を闘う全国青年学生共闘+三里塚を闘う青年先鋒隊+全国労働者共闘会議)
- 5月20日(「成田空港」開港)
- 7月25日『鉄鎖を砕け』第二集(共産同(全国委)ML主義派)
- 8月×日共産同マルクス・レーニン主義派第2回大会
- 11月11日『季節』(季節編集委員会)—創刊号(松岡利康・鹿岩社)

● 1979年

- 1月×日東大闘争十周年記念全国集会(東大文学部自治会・京大同学会・同大学友会等)
- 1月×日立志社—結成(斉藤まさし、日学戦、三支労等・機関紙「アカハタ」→80年「新生」)
- 2月25日『マルクス・レーニン主義』2号(共産同マルクス・レーニン主義派)
- 3月×日日本社会科学研究所(マルクス・レーニン主義、毛沢東思想)—結成(塩見孝也)
機関誌『マルクス主義』『労農通信』—共産同赤軍派プロ革派-分裂
- 3月30日国鉄千葉動力車労働組合(千葉動労)—動労千葉地方本部の分離・結成
- 4月11日横瀬毅八(対馬忠行・マルクス・トロツキー研究者)—死去(享年77歳)
- 5月×日革命的共産主義者同盟革マル派第12回大会—動労千葉問題
- 5月30日『共産主義』17号(共産同RG)
- 6月9日磯江洋一、山谷マンモス交番警察官刺殺(6・9の会結成)
- 6月22日「革命通信」第32号(終刊)
- 7月1日雑誌『インパクション』—創刊号～(輪飼 哲等・インパクト出版会)
- 7月×日共産同(「革命の旗」派)結成—(共産同マルクス・レーニン主義派と共産同遊撃派)
機関誌『長征』『革命の旗』
- 7月×日『労活80』—創刊(東京都労働組合活動家会議)
- 9月5日『同志』第1号—創刊(共産同戦旗派)
- 9月×日労働者共産主義委員会(中央委員会「怒涛」派)—日本共産党(マルクス・レーニン主義)に合流
- 9月23日伊藤 律(元日本共産党)帰国(中国拘留29年)
- 10月×日季刊『クライシス』1号(～40号1990年・社会評論社)
- 10月8日『長征』創刊号—共産主義者同盟(革命の旗)
- 11月2日戸村一作(三里塚空港反対同盟委員長)—死去
- 11月25日季報『唯物論研究』創刊—田畑 稔・唯物論研究会
- 12月5日『同志』第2号(共産同(戦旗派))

● 1980年

- 1月1日『鉄の戦線』5号(共産同蜂起派)
- 1月10日共産同(紅旗派)—共産主義者同盟(労働者組織委員会)吸収
- 2月×日共産同(戦旗派)第一回同盟員総会(戦旗・共産主義者同盟へ改称)
- 2月26～3月11日日本共産党第15回大会(「革新統一懇談会」提唱)
- 2月×日革共同「勝利に向かっの試練」編集委員会—
(革共同分派機関誌『勝利に向かっの試練』革共同の分派・上口孝夫)
- 4月10—13日民青同第16回全国大会
- 4月15日『遠方から』第5号(終刊)
- 4月20日筑波大学闘争支援全国学生集会(全国学生共同闘争/明治公園千名)
- 4月20日『同志』第3号
- 6月21日社会主義学生同盟(再建)大会(戦旗・共産同系・機関誌『若きボリスエヴィキ』)
- 6月30日『理論戦線』13号(戦旗・共産主義者同盟)
- 7月15日日本共産党(行動派)再建第七回大会—結成(議長・大武例一郎)
日本マルクス・レーニン主義運動と共産同(国際主義派)の統合
- 8月3日戦旗・共産主義者同盟政治集会(東京)
- 8月×日村岡 到・日本革共同を離党・「政治グループ稲妻」—結成・機関誌『稲妻』
- 8月20日『紅旗』創刊号(共産主義者同盟(紅旗))
- 8月20日『同志』第4号
- 9月×日青年共産主義者同盟・準(青共同)—結成・旧共産主義研究会
元社会主義協会大田派・機関誌「マルクス・レーニン主義を掲げて」→「国際主義」
- 9月15日三里塚現地集会(革労協主流派、労対派部隊を襲撃・分裂)
- 9月15日『若きボリスエヴィキ』第1号(社会主義学生同盟—戦旗・共産同系)
- 10月30日革共同中核派、革マル派学生五名を襲撃(東京—5名死亡)～治安弾圧化
- 11月1日『理論戦線』14号(戦旗・共産同)
- 12月×日京都大学同学会・金大中死刑阻止！パリケードスト(京都三大学共闘)